

2.3 後期講座

[9日目] 11月17日

日時・時間	11月17日(火) 8:30~10:00	・ 1時間30分
講義名	健全度評価手法(土構造物)	
講師名	岐阜大学 八嶋 厚教授	
講義形態	講義	
実施場所	愛媛大学防災情報研究センター 2階研修室	
内容	<p>急峻な山岳地帯と濃尾平野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 盛土、切土、自然斜面の災害発生回数の変化 ・ 中部地方の特徴(脆弱な地盤)、岐阜県の災害史 ・ 地盤改変の恐ろしさ ・ 昭和43年飛騨川バス転落及びその後の対策 ・ 岐阜県の風土と道路の状況 ・ 東海北陸自動車斜面崩壊、前兆、原因及び対策 ・ 平成10年下呂地区斜面崩壊(風倒木後での崩壊) ・ 持続可能な社会の実現 ・ 「見る」ことのできる技術者 ・ 土木技術者としての「鏡」 	

日時・時間	11月17日(火) 10:20~11:50	・ 1時間30分
講義名	健全度評価手法(地盤)	
講師名	徳島大学大学院 渦岡良介教授	
講義形態	講義	
実施場所	愛媛大学防災情報研究センター 2階研修室	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 液状化による住宅被害(2011年東北地方太平洋沖地震) <ul style="list-style-type: none"> ・ 液状化地点 ・ 液状化範囲及び液状化予測 ・ 液状化危険度予測(徳島市) ・ 噴砂発生と地盤沈下のメカニズム 2. 宅地の斜面崩壊(2011年東北地方太平洋沖地震) <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台市周辺の造成宅地開発状況と地震被害 ・ 被害形態 ・ 被災メカニズムによって異なる対策 ・ 被害メカニズムと対策工効果の数値的検討 ・ 人口改変地に関するまとめ ・ 沖積平野の地盤沈下 ・ 地下水位と地盤変位の関係 	

日時・時間	11月17日(火) 12:40~14:10	・ 1時間30分
講義名	斜面の維持管理	
講師名	愛媛大学 山下祐一、廣田清治、芙蓉コンサルタント 須賀幸一	
講義形態	講義	
実施場所	愛媛大学防災情報研究センター 2階研修室	
内容	<p>1. 土砂災害と法律 (廣田清治)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6.29 豪雨災害 (1999) ・ 広島土砂災害 (2014) ・ 土砂災害防止法 (2001) とその後 ・ 土砂災害防止法の見直し (2014) <p>2. のり面・斜面の概要 (山下祐一)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ のり面・斜面の崩壊の実態 ・ のり面・斜面の崩壊形態 ・ のり面・斜面の調査 ・ のり面・斜面の維持管理 <p>3. 斜面の設計と対策と斜面の維持管理 (須賀幸一)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計・対策の基本的な考え方 ・ のり面保護工の選定基準 ・ 斜面の維持管理の基本 ・ のり面健全性の長期的推移の概念 ・ 切土のり面 ・ 構造物によるのり面保護工 ・ 維持管理の構成と流れ ・ のり面・斜面の変状事例 	

日時・時間	11月17日(火) 14:30~17:50	・ 3時間
講義名	斜面の維持管理 演習	
講師名	愛媛大学 山下祐一、廣田清治、(株)芙蓉コンサルタント 須賀幸一 応用地質(株) 高柳朝一	
講義形態	演習	
実施場所	愛媛大学防災情報研究センター 2階研修室	
内容	<p>1. 斜面の崩壊・変状の維持管理 演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 転石型落石 ・ 崩積土の崩壊 ・ 岩の割れ目に沿った崩壊 ・ 旧地すべり面沿いの地すべり ・ 流れ盤地すべり ・ トップリング(受け盤)の転倒すべり <p>各事例について、①崩壊発生した原因、②崩壊分析のための調査、③応急対策工、④恒久対策工の選定とその理由をグループでまとめ、発表。</p> <p>2. トップリング(受け盤)の転倒すべりの詳細説明 (説明者 応用地質 高柳朝一)</p>	